

特51-980



1200800230883

新選北海道獨案内

国立国会図書館

0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 5m
| 3 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5

始



N-53

特51
980



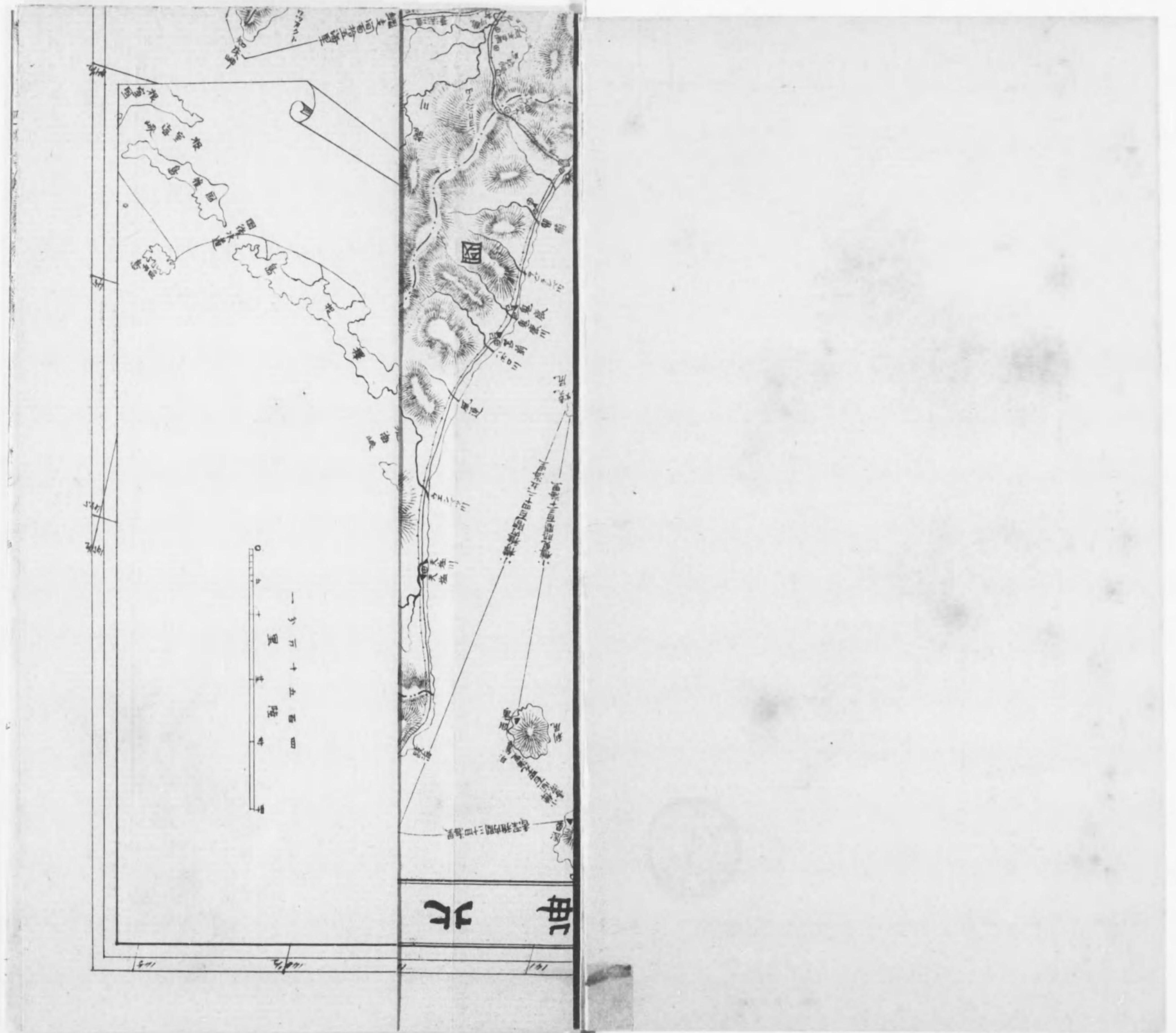
明治二十五年八月

完



新北海道獨案内

版權所有 松雲堂發兌



菜拾七町と普通次耕も亦を一街にるを道謐林拂

面積五百九拾七萬三千八百五拾九町あり即ち調料林貳百萬町官林三百九拾六萬貳
六百三拾四町とす官林の内平林壹百餘萬町歩は移住民増加し既定植民地堅成の上
に至らは漸次耕牧地と爲すの豫計にして山林のみ永久保存するものとす樹木の種
類わり即ち普通建築用に適當のもの凡十八種の内調葉樹十二種針葉樹六種とす又
最良のものも亦た四種わり薪は長さ貳尺乃至貳尺五寸にして高さ五尺巾六尺へ六
みたるものを一枚と唱へ六七拾錢以上壹圓以下を普通とし又炭は十貫日入壹俵に
す現時は市街に近き所にて炭を焼き薪を伐り用水を利用して又は船舶を運用し汽車
し販賣をするを得れば薪炭も亦相當の純益ある營業なり尤官林城内の森葉町冬木
年五月北海道廳令官林雜物產荷賣規則に依り相當代價を上納し拂下を受くるに非
ざす隨て材林拂下等の處分は各地御料局林業課派出所及北海道廳林務課派出所に
舉に遑わらずと雖とも其重なるものは石炭石油硫黄金銀銅鉛等とす其最なるもの
所（五十七ヶ所）とす就中石炭田の大なるは幌内郡春別夕張空知の諸山にして洋式
の鐵道を利用して運搬を便にし年々六拾萬噸を輸出する計畫なり又硫黃山大なるも
四十哩の鐵道を鋪設川せを利用し年々十餘萬石を運搬せり尤本道は近年良賤の發
從て後來甚矣

甲第4號布達を廢止す
後明治二十三年三月勅令第五十五號を以
北海道官有未開の土地拂下貸下に關して
の方法を用ひず

らさるもの、如し其他農業又は土工人夫を合算せば莫大の數となるへし且拓殖事業の發達するに従ひ労働者の需用多きを加ふるは勢の必至する處なれば將來労働者にして職業を求むるに因しむものなるへしと雖とも一定の目的もなく一錢の貯もなく府縣人の漫りに渡航するものは上陸後直ちに其方向に迷ひ其移住の實を擧る能はざるもの証なからされば其地を出るに際し用意周到ならざるへからず如何に本道なればとて金錢を道路に撒布しわるに非ざるなり先づ傭夫賃錢を擧くれば鐵道工大其他は一日一人ニ付廿五錢乃至四拾錢を通例とし農業傭夫は一日一人ニ付廿錢前後とす其外諸職工は壹日壹人ニ付廿一錢以上六拾五錢以下下男は壹ヶ月壹人ニ付二圓五十錢以上四圓五拾錢以下下女は壹圓以上二圓五拾錢以下とす尤も漁夫一期の賃金は鮭は貳拾圓以上三拾五圓以下鮭は拾五圓以上二拾圓以下昆布は拾圓以上拾八圓以下とす是れ其概略なり

● 交 通

北海道は拓殖起業以來年所を経る間は僅ければ海陸交通全く便利なりとは稱し難きも水路は神戸小樽間の定期航海既に開け全道各港河皆航路わらざるなし陸路は沿海道路及び各村驛道路の外上川網走間中央道路等あり漸次道路開け航路通じ近年海陸共に交通利便に赴むくの状況なり加之本年八月を期し室蘭鐵道も幌内線に聯絡し鉄路鐵道も遠からず公開せんとするの計畫あれば將來交通上に一大至便を與ふること近きにわるべし現今鐵道の後志國小樽港より起り札幌を経て幌内に至るものは岩見澤より岐れて砂川に至り再び岐れて一は歌志内炭山に一は空知太に至り又岐かれて郁春別炭山に達す其の他鉄路國に標して前中上の三等に分ち次第に從つて賃金を増加し上等は手荷物八十斤中等六十斤下等二十斤迄を無賃運輸し且つ茶種を除くの外本道農産物に限り無賃運搬せり尤も鐵道に憑らざる地は旅行及び物貨の運輸とも馬車（雪中は馬橇）を用ゆ又單獨の旅行は往々徒步するも其迅速を要する場合は皆馬を用ゆ乗馬賃金は大抵壹里七錢より拾錢（雪中及び惡路の時は五割増）にて各驛皆馬匹の備ひあり其他札幌函館小樽等の都會は皆人力車の使用頻繁にして乗車賃金額は地方廳の公定あり通信の便も亦殆んど府縣に譲らす郵便電信局及び郵便取次所は各所にわたりて其轄域内は何地にても配達せざるなし電話は現在官用線及び工事會社等の私線のみにして未だ電話局の公設わらざるも其豫定地は渡島後志石狩日高根室鉄路北見膽振大鹽の數國とす

各地里程概覽表

競争者現はるまでの假況とす未に繁華の都邑は家賃改た高し札幌の如きは東京と大差なきも家庭は極めて川造なり是れ新聞地自然の勢に外ならず抑も札幌は本道の首府にして市街は殆ど壹万里内に亘ると雖とも現時は商業地に非す追年石狩原野全く開け物産繁殖し旅客の去來及び物貢の集散多きに至らは益し盛なる商業地の域に入るを得へし

北海道全圖

千島國

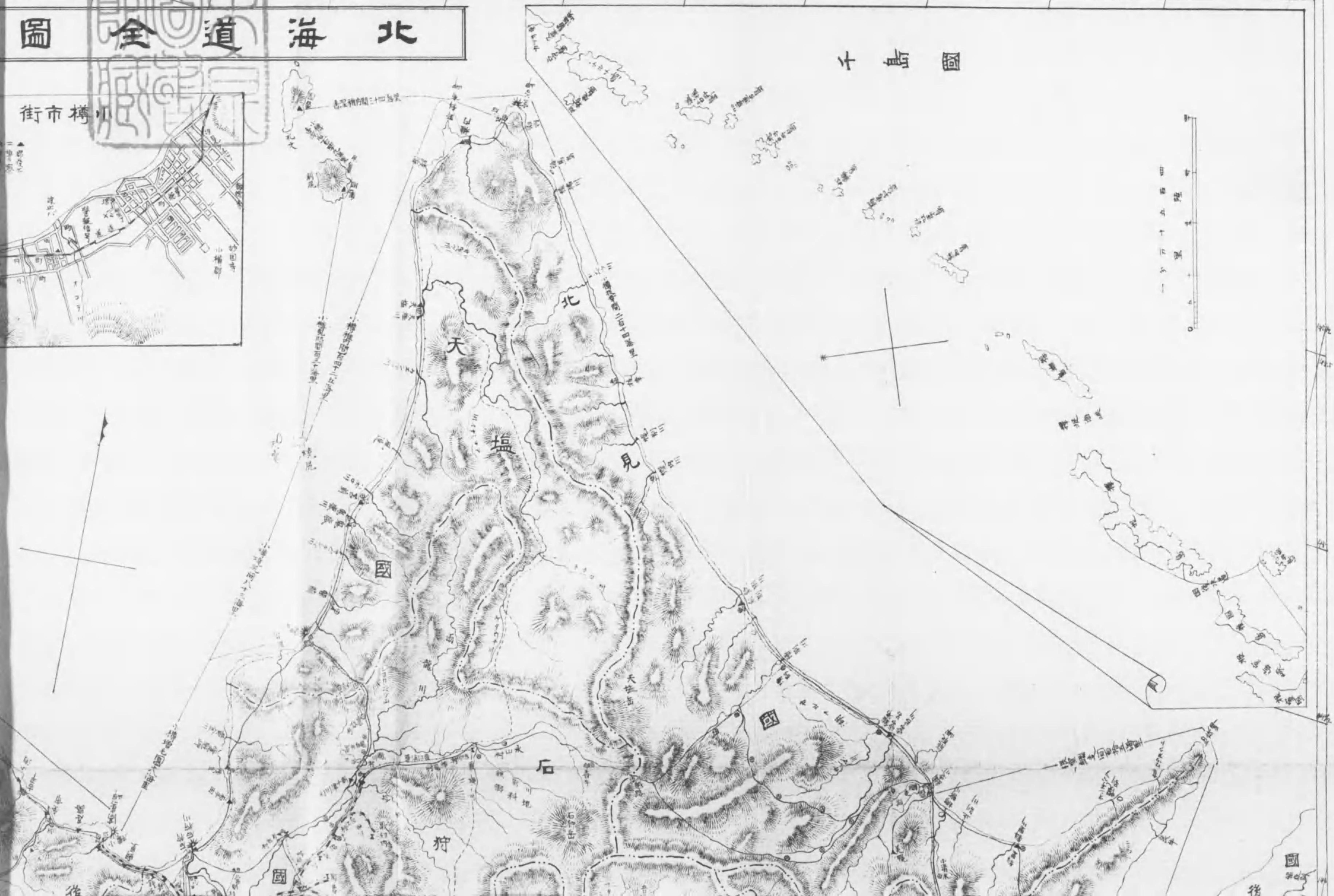
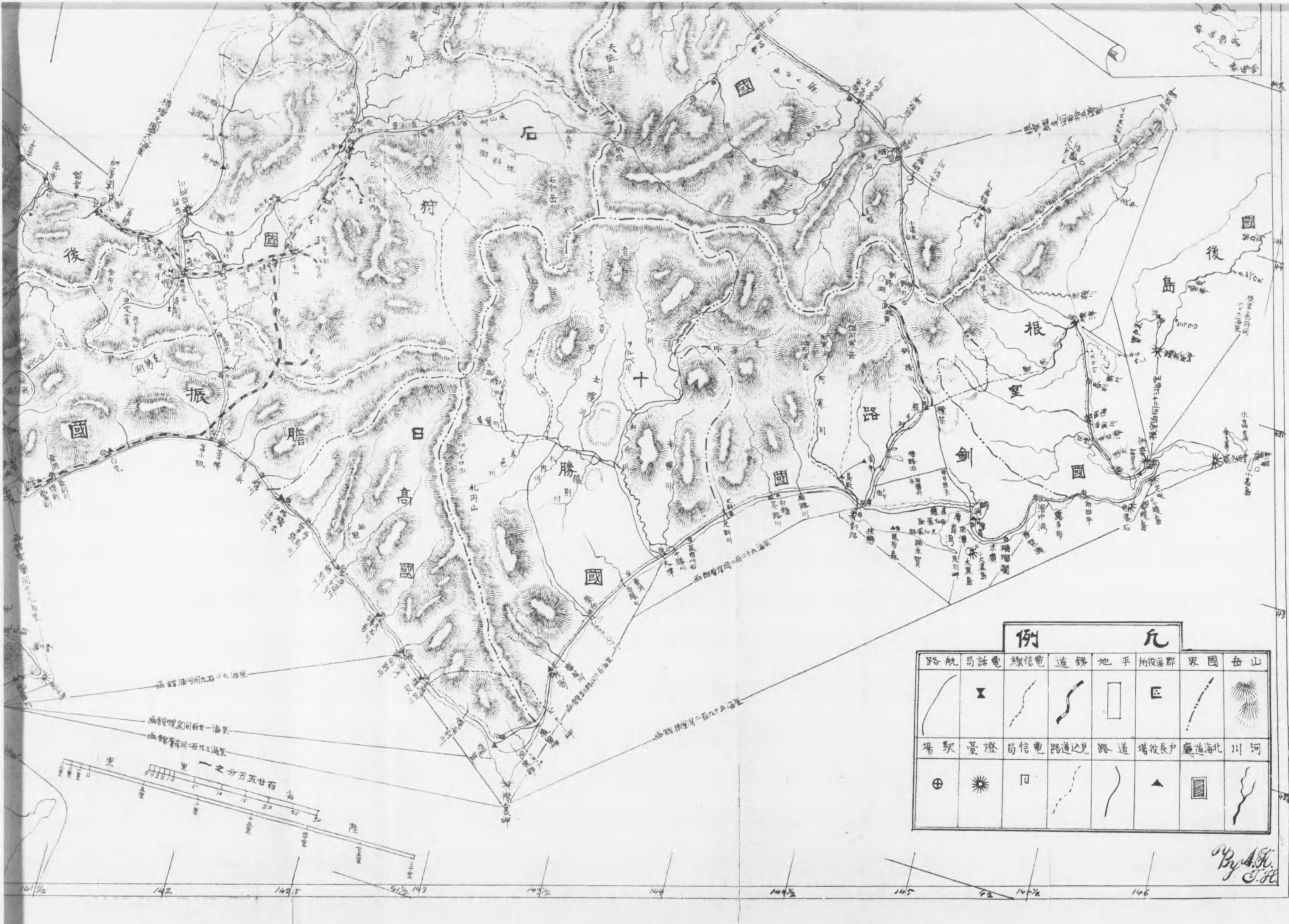

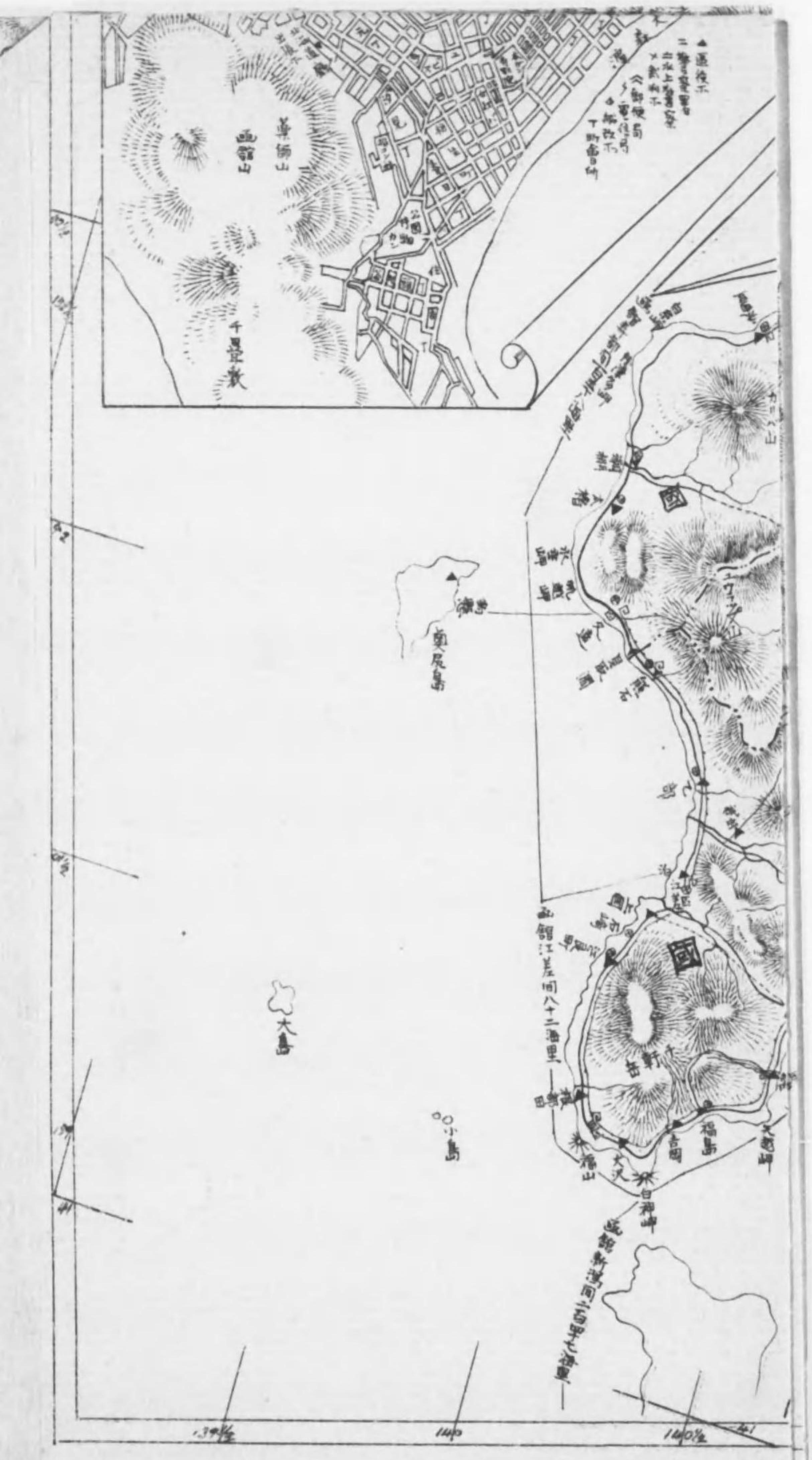


圖 陰 道 海 北









發兌書目	
一北海道志	洋二冊綴正價壹圓五拾錢
一北海門之鍵	一冊正價貳拾錢
一北海道里程調書	一冊正價八錢
一北海道全圖	札幌自治堂出版大形一折正價
一大日本憲法注釋	一冊正價拾五錢
一大日本語學捷徑	一本三冊正價七拾錢
一日本憲法注釋	一冊正價拾錢
一皇朝言行錄	三冊正價三拾錢
一帝國作文全書	一冊綴正價拾五錢
一北海殖民之歌	一折正價貳拾八錢
一奇談新編	一冊正價拾八錢
一大阪心齋橋筋安土町四丁目	書林鹿田靜七

終

